

「リウマチ性疾患が脳梗塞の臨床像および転帰に及ぼす影響の検討」 について

○ 研究の意義・目的

関節リウマチを含むリウマチ性疾患を有する患者さんの脳梗塞の発症率が一般の集団より高いことが知られています。しかし、リウマチ性疾患の罹病期間や疾患の重症度、治療薬などが脳梗塞の急性期にどのような影響を及ぼすかは分かっていません。今回の検討によりこれらを明らかにし、より質の高い急性期脳梗塞治療を行うことを目的とします。

○ 研究対象者

承認日から2025年12月31日までに、広島大学病院脳神経内科および近森病院に急性期脳梗塞として入院した患者さん対象とします。他診療科に入院した脳卒中患者、院内発症の脳卒中患者さんで、脳神経内科に相談があり診断、治療に関わった患者さんも含みます。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、入院前内服薬、入院日、診断名、入院時重症度、脳梗塞病型、診察所見、画像所見、血液検査所見、退院日、脳卒中後転帰（modified Rankin Scale: 退院時、90日後）です。

本院及び共同研究機関において、個人が特定できる情報を削除して収集された診療録情報は、本院・共同研究機関において解析されます。個人を特定可能な情報は解析に用いません。

以下の機関と共同で研究します。

- ・近森病院 脳神経内科 細見 直永

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学 教授 丸山 博文

○ 研究期間 2021年6月2日（委員会承認後）～2027年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

- * 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5201

広島大学病院 脳神経内科学 教授 丸山 博文 (研究責任者)

診療講師 青木 志郎 (担当者)